施策評価シート
(平成30年度評価実施)

担当 部課名

企画部 協働まちづくり課 関連 部課名 教育委員会 生涯学習課

◆第四次蒲郡市総合計画(2011~2020)

施策名	地域コミュニティ
基本目標	市民とともに歩むまちづくり【協働・行財政運営】
施策の説明	地域内の世代間交流を深め活発な地域コミュニティ活動を育むために、地域コミュニティの担い手の育成やコミュニティ活動の支援体制の充実、活動場所の提供、施設整備への助成などの取組を推進します。

◆施策の全体像

施策の体系項目

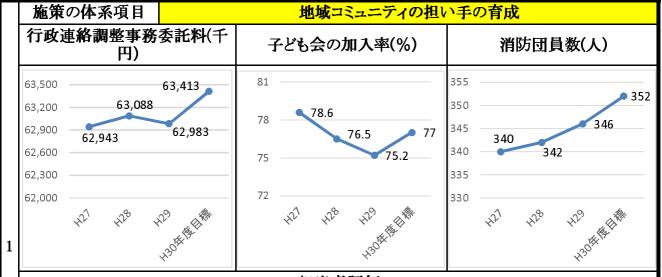
将来像

- 1 地域コミュニティの担い手の育成
 - 2 コミュニティ活動の充実
 - 3 施設整備への助成



地域内の世代間交流を深め、活発な地 域コミュニティ活動が図られています。

◆施策の体系項目に係る具体化した取組み実績(括弧内は単位)

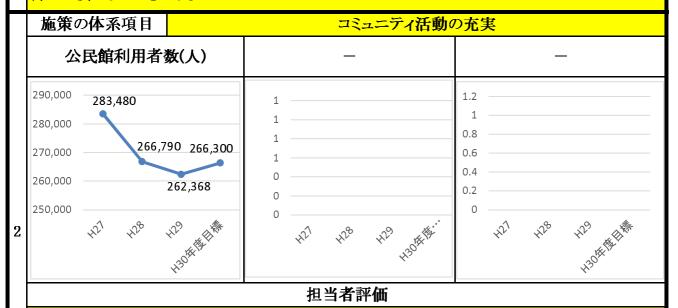


担当者評価

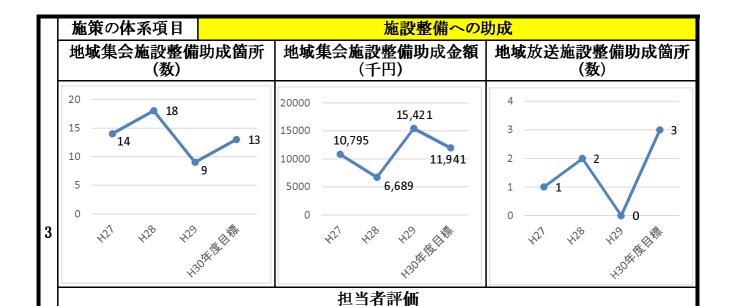
行政連絡調整事務委託料は、市内の世帯数を根拠に算出しているため、昨今の諸事情を踏まえた世帯分離傾向を受け、右肩上がりが予想されますが、ここから地域の自主防災活動や、地区の運営費等をまかなっています。

こども会の加入率は、減少傾向です。減少理由としては、運営主体となる親の負担増や、子供会自体の必要性をあまり感じていない親が増えていることなどが想定されます。子供会に加入することで親同士の繋がりを形成し、地区の子供の把握が可能となります。地域連携維持のため、加入することでのメリットを伝えていくことが必要です。

消防団員数は、微増しています。若い世代が加入することが多いため、地域への異なる視点を増やすいい機会です。女性にとっても、平等な機会を創出すべきという考えから、女性団員の獲得が必要となってきます。



多彩な体験講座を開設している公民館は、地域コミュニティ育成の重要な役割を担っています。今後は高齢者だけではなく、若者と高齢者が交わる機会を作る事で、新たな顔つなぎの場を創出していくことが必要です。



集会施設は、地域コミュニティの活動拠点であり、各自治会が計画性をもって整備をし、コミュニティ活動を円滑に努めています。建築から20~30年経過した施設が多く、今後老朽化による改修等が増える可能性があります。

◆施策の現状分析(指標の推移から見た現状分析)



指標の説明(設定理由)

地域ふれあい活動事業は、自治会等が、自主 防災訓練活動やスポーツイベントなどを行い、それらの活動を通して、地域の交流を図るものであり、参加人数の増加は、地域活動に関心を持つ 住民の増加につながると考えています。

指標の分析

平成29年度は東部地区の運動会実施予定が、雨天により中止となったため大きく減少しています。今後も若年層が減少するであろうことから、退職世代などに積極的に参加してもらえるような働きかけが必要です。

指標の推移 総代区歳出予算に占める助成費 等の割合(%) 30.25 30.5 29.8 30 29.5 29.5 29.2 29 28.5 2 132推横山鄉 429 428 427

指標の説明(設定理由)

総代区の歳出のうち、コミュニティ組織の育成や自主防災会や子ども会などの活動支援のために支出されている補助金、負担金及び助成金(助成費等)も分類される支出項目の金額に占める割合により、コミュニティ活動支援体制の充実度をはかります。

指標の分析

若干減少傾向にありますが、ほぼ同水準を維持しています。この割合が増えることで、地域内で活動支援が推進し、新たな担い手育成にもつながると考えられます。

◆市民等からの参考意見等

市民サービス向上に向けた意見等

アンケート等による意見把握ができておりません

◆今後の方針

No.	〜後の万朝	課題	- 今後の取組み					
140.	件名	内容						
1	コミュニティ活動の充実	地域ふれあい活動を通して、 地域での交流を活発化し、年 代に区別のないつながりを構 築する。	各自治会における地域ふれあい活動 について、周知徹底に努める。					
2	地域コミュニティの担い 手の育成	子ども会や消防団の加入率 増加をはかる。	地域活動の支援と同時に、伝統行事 等各種イベントにおいて周知活動を行 う。					
3								
4								

◆施策評価

構成事業の進捗状況	B:おおむね計画どおり進行している。
施策の進め方	B:一部見直しが必要である。
課長評価	地域コミュニティ活動を育むための施策として地域活動推進奨励金等の交付や地域活動の拠点である地域集会施設の整備補助等をしていますが、総代区において、地域コミュニティ、住民相互の繋がりを維持するため、常会加入率、地域活動への参加率アップへの方策を検討していく必要があります。 昨年度度より、昔からの慣習による補助金などの使い方や個人情報の取り扱いなどについての指針を見直してもらう動機付けとして「地域自治の手引き」を作成し全総代に配付して運営の適正化に努めていまが、各地区での工夫に富んだ素晴らしい活動事例なども紹介をしていき、他の地域がどのように活動をしているのかについても情報を提供してください。総代と活発なコミュニケーションを図ることで、まちづくりに対して細やかな配慮がフットワークよく実施できる姿を追い求めましょう。 今後とも、現在の地域活動への支援を継続しつつ、地域での役割分担と併せて世代間の交流を深めるとともに、担い手を育成できる環境の整備をに力をいれていく必要もあります。

施策の進捗状況	B:目指す将来像実現に向けておおむね計画どおり進行している。
部長評価	地域コミュニティ活動を進展させるために、地域活動推進奨励金等の交付や地区集会所の整備補助等を行っているが、最近は住民相互のつながりが希薄になり、住民自治の基盤となる地域コミュニティの機能が低下する傾向にある。そのため常会加入率を上げる方策を地域とともに考える必要がある。

事務事業一覧

総合 計画	所管課	番号	事業	É	名	人件費を除く 事業費(千円)	人件費(参考) (千円)	人工	評価 (担当 者)	事業の 種別	新規 事業	達成 状況	市長マニ フェスト	実施 計画
6-2	協働まちづくり課	2	住民自治組織連携事業			123, 987	6, 740	1.00	В	イ	オ	В	_	×